

農業法人株式会社 秋津野

～地域住民が一人一人が塾生、みんなで地域作り。～



○地域の概要

上秋津地域は一年を通して数十種類のミカンを収穫するミカン産地で、和歌山県が全国一の生産量を誇る梅の産地でもある。しかし近年、不況の影響や消費者離れによるミカンの価格下落、農家の高齢化による後継者問題が起こっている。

○取組概要

豊かな地域資源を活かしグリーンツーリズム事業化し、地域を活性化に結びつく事業を行うのが、秋津野ガルテンである。全国の産直ブームに先駆けて地元住民31人が10万円ずつ出資した直売所を立ち上げた。以降、農産物加工場や農家レストラン、グリーンツーリズム設を開業。農業法人株式会社秋津野を設立、地域資源を生かし、自主財源を確保するコミュニティービジネスとして注目される。

農家民泊は、(株)秋津野や(株)きてらの役員有志で、子供の食育のため受入開始。



○取組の経緯

昭和32年	町村合併後、和歌山県下に於いてはじめて社団法人を設立し、旧上秋津村有財産全てを、地区民に復帰、法人所有権を移し、全国に於いても初めての財産区の解消。「社団法人上秋津愛郷会」誕生
平成6年	地域づくり塾「秋津野塾」結成
平成11年	農産物直売所「きてら」オープン
平成14年	現校舎利用活用検討委員会の発足
平成16年	農産物加工施設「俺ん家ジュース倶楽部」オープン
平成19年	農業法人株式会社「秋津野」誕生
平成20年	14軒の農家が秋津野農家民泊の会を結成
平成22年	お菓子体験工房「バレンシア畑」オープン
平成25年	アグリシードファンドの投資にて地産地消エネルギーの取組



【秋津野】
農業法人秋津野
(和歌山県田辺市上秋津)



○受入に関する成果

平成23年度、秋津野ガルテンの事業部、左記以外の観光消費部分の経済波及効果の合計は、9億7048.5万円、マスコミによる広告宣伝効果(2008年以降)6億7029.4万円となった。

利益追求ではなく、地域の活性化を目指す。グリーンツーリズムだけでなく、学びの場としての役割を果たす。

このページに関するお問い合わせは
和歌山県農林水産部農業生産局果樹園芸課

〒640-8585 和歌山市小松原通1-1 TEL:073-441-2900 FAX:073-441-2909

メール: e0703001@pref.wakayama.lg.jp